

運用報告書（全体版）

第10期

（決算日：2015年10月27日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式	
信託期間とクローズド期間	原則として無期限（クローズド期間はありません）	
運 用 方 針	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド （ベビーフンド）	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザー ファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド （ベビーフンド）	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザー ファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合等、委託者の判断により収益分配を行わないこともあります。	

ソフトバンク& SBIグループ 株式ファンド

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド」は、2015年10月27日に第10期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

 **SBI** Asset Management

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		株式組入比率	純資産額
		税金	分配		
	円	円	%	%	百万円
6期(2011年10月27日)	4,132	0	△ 10.5	93.0	836
7期(2012年10月29日)	4,480	0	8.4	95.8	804
8期(2013年10月28日)	13,429	0	199.8	94.9	2,259
9期(2014年10月27日)	11,205	0	△ 16.6	95.7	1,484
10期(2015年10月27日)	12,268	0	9.5	95.8	1,176

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式(以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。)に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株式組入比率
		騰落	率	
(期首)	円		%	%
2014年10月27日	11,205		—	95.7
10月末	11,495		2.6	99.1
11月末	11,935		6.5	97.7
12月末	11,535		2.9	96.4
2015年1月末	10,825		△ 3.4	95.5
2月末	12,057		7.6	95.8
3月末	12,455		11.2	94.6
4月末	12,881		15.0	94.3
5月末	13,449		20.0	97.1
6月末	12,931		15.4	96.4
7月末	13,086		16.8	95.8
8月末	12,305		9.8	97.0
9月末	10,943		△ 2.3	96.4
(期末)				
2015年10月27日	12,268		9.5	95.8

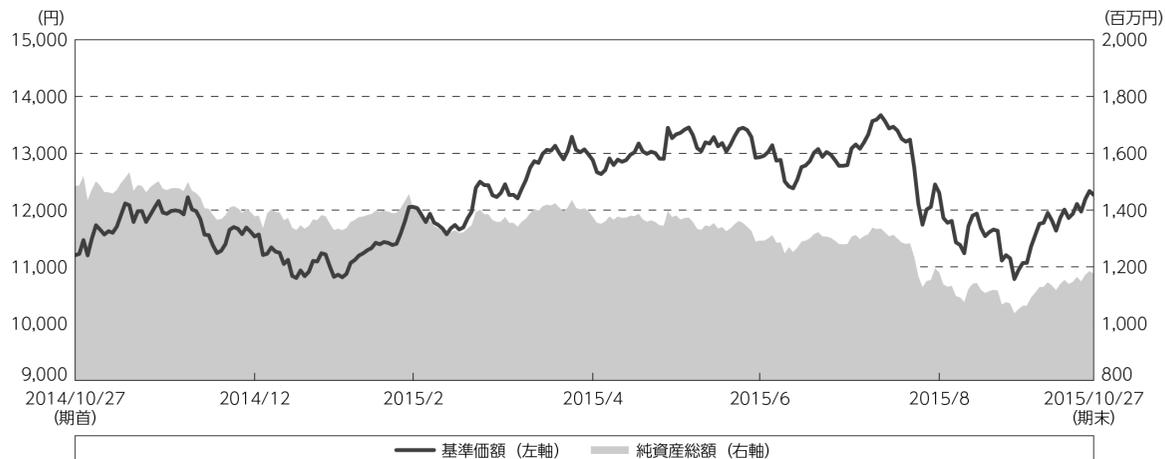
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2014年10月28日から2015年10月27日まで）

○基準価額等の推移



期 首：11,205円

期 末：12,268円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 9.5% (分配金再投資ベース)

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

マザーファンドの組入銘柄であるヤフー、アスクル、SBIホールディングス等の株価の上昇が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

マザーファンドの組入銘柄であるソフトバンクグループ、ガンホー・オンライン・エンターテイメント、バリュコマース等の株価の下落が基準価額の下落要因となりました。

○投資環境

期首から12月中旬にかけては、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の新運用比率に関する報道や日銀による追加金融緩和などによって円安となり、輸出関連企業の業績改善期待の高まりや、衆院解散や消費増税の先送り観測を背景に日本株は上昇基調となりました。年末にかけては、原油価格の急落による産油国経済の悪化懸念から世界的に株安が広がり、調整が進みました。年明け以降8月にかけては、スイスフランの対ユーロでの上限撤廃により市場に動揺が広がる一方、欧州中央銀行（ECB）による予想を上回る規模の量的緩和策導入決定などを好感して反発すると、良好な需給環境や国内景気の回復期待に加え、株主価値を意識した企業経営姿勢の変化を好感し上昇基調が続きました。その後、米景気減速懸念や欧州を中心とした債券利回りの急騰を受けて調整する局面があるなど、ボラティリティの高い展開が続きました。8月以降は中国経済の先行き不透明感、世界的なデフレ懸念、円高、原油安などの要因により急落したものの、通期では小幅上昇となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク & SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

○分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第10期
	2014年10月28日～ 2015年10月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,268

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年10月28日～2015年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 110	% 0.907	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(53)	(0.432)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(53)	(0.432)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.080	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(10)	(0.080)	
(c) そ の 他 費 用	3	0.024	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(3)	(0.024)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	123	1.011	
期中の平均基準価額は、12,158円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○ 売買及び取引の状況

(2014年10月28日～2015年10月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 118,326	千円 151,000	千口 467,763	千円 618,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2014年10月28日～2015年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額		675,798千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		1,287,148千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		0.52

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年10月28日～2015年10月27日)

利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

利害関係人の発行する有価証券等

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
株式	12	72	124

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはソルクシーズ、モーニングスター、SBIホールディングス、SBIライプリビングです。

○組入資産の明細

(2015年10月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 1,227,696	千口 878,260	千円 1,168,876

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千円 1,168,876	% 98.5
コール・ローン等、その他	17,313	1.5
投資信託財産総額	1,186,189	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月27日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	1,186,189,730
コール・ローン等	17,312,991
ソフトバンク&SB1グループ株式・マザーファンド(評価額)	1,168,876,735
未収利息	4
(B) 負債	9,911,310
未払解約金	4,025,409
未払信託報酬	5,723,901
その他未払費用	162,000
(C) 純資産総額(A-B)	1,176,278,420
元本	958,798,845
次期繰越損益金	217,479,575
(D) 受益権総口数	958,798,845口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,268円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	1,324,923,477円
期中追加設定元本額	268,920,866円
期中一部解約元本額	635,045,498円

○損益の状況 (2014年10月28日～2015年10月27日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	1,616
受取利息	1,616
(B) 有価証券売買損益	95,784,764
売買益	150,854,821
売買損	△ 55,070,057
(C) 信託報酬等	△ 12,394,071
(D) 当期損益金(A+B+C)	83,392,309
(E) 前期繰越損益金	△ 95,385,966
(F) 追加信託差損益金	229,473,232
(配当等相当額)	(112,148,912)
(売買損益相当額)	(117,324,320)
(G) 計(D+E+F)	217,479,575
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	217,479,575
追加信託差損益金	229,473,232
(配当等相当額)	(112,509,113)
(売買損益相当額)	(116,964,119)
分配準備積立金	89,220,683
繰越損益金	△101,214,340

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,232,540円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(128,258,892円)および分配準備積立金(75,988,143円)より分配対象収益は217,479,575円(10,000口当たり2,268円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○約款変更のお知らせ

運用報告書(全体版)について、電磁的方法により提供することを可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2014年12月1日)

第10期 運用報告書

(決算日 2015年10月27日)

ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンド

受益者のみなさまへ

「ソフトバンク & S B I グループ株式ファンド」が投資対象とするマザーファンド「ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンド」の第10期（2014年10月28日から2015年10月27日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	この投資信託は、わが国金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、S B I ホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク & S B I グループ株式」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、S B I ホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組 入 制 限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は、行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	率		
	円		%	%	百万円
6期(2011年10月27日)	4,332	△	9.7	93.2	834
7期(2012年10月29日)	4,741		9.4	96.0	802
8期(2013年10月28日)	14,357		202.8	95.4	2,247
9期(2014年10月27日)	12,048	△	16.1	96.0	1,479
10期(2015年10月27日)	13,309		10.5	96.4	1,168

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2014年10月27日	12,048		—	96.0
10月末	12,362		2.6	99.5
11月末	12,847		6.6	98.1
12月末	12,425		3.1	96.9
2015年1月末	11,665	△	3.2	95.9
2月末	13,007		8.0	94.9
3月末	13,453		11.7	95.0
4月末	13,927		15.6	94.9
5月末	14,555		20.8	97.7
6月末	14,002		16.2	97.1
7月末	14,182		17.7	96.4
8月末	13,337		10.7	98.1
9月末	11,853	△	1.6	97.6
(期 末)				
2015年10月27日	13,309		10.5	96.4

(注1) 騰落率は期首比。

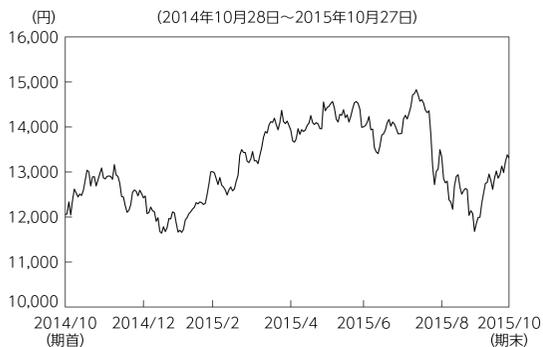
(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2014年10月28日から2015年10月27日まで）

○運用経過

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は、期首12,048円から始まったあと、期末には13,309円となりました。期を通じて騰落率は+10.5%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2014/10/27	2015/8/11	2015/1/19	2015/10/27
基準価額 (円)	12,048	14,827	11,639	13,309

【組入上位10銘柄】

(2015年10月27日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	32.0
2	ヤフー	情報・通信業	円	日本	31.9
3	ガンホー・オンライン・エンターテイメント	情報・通信業	円	日本	12.0
4	SBIホールディングス	証券・商品先物取引業	円	日本	9.7
5	アスクル	小売業	円	日本	7.4
6	モーニングスター	サービス業	円	日本	0.7
7	ブックオフコーポレーション	小売業	円	日本	0.6
8	バリューコマース	サービス業	円	日本	0.5
9	アイティメディア	サービス業	円	日本	0.4
10	ソフトバンク・テクノロジー	情報・通信業	円	日本	0.4
	組入銘柄数		13銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国 (地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

○当ファンドのポートフォリオ

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

個別銘柄別では、ヤフー、アスクルなどがプラスに寄与した一方、ソフトバンクグループ、ガンホー・オンライン・エンターテイメントがマイナス寄与となりました。ヤフーについては、webサイト上での「ディスプレイ広告」が好調だったほか、クレジットカードやYahoo!ショッピング、予約飲食店などは先行投資費用をこなして収益増に寄与する結果となりました。また、5月にはアリババとの連携を発表し、8月にはアスクルを完全子会社化する等を背景として、前期末比で株価は大幅上昇となりました。ソフトバンクについては、傘下のスプリントによるTモバイルUSの買収を断念し、先行きが不透明となったほか、約3割を保有出資するアリババ集団の株価が米国株式市場で下落したこと等を背景に下落しました。ガンホー・オンライン・エンターテイメントについては、主力である「パズル&ドラゴンズ」にユーザー同士を競わせるランキングコンテンツの追加などを要因として、収益減少が鈍化傾向となったものの、広告費が増加傾向となっており、今後しばらくは広告費が高止まりするとの会社側見解を織り込み、株価は下落基調となりました。

当期の組入銘柄の異動は以下のとおりです。SBIライフリビング株式会社は、アドバンテッジパートナーズLLP傘下の株式会社LLホールディングスによる、TOB（公開買い付け）に伴い上場廃止となり、当ファンド保有株については全株TOBへの申込みを行いました。また、ブロードメディアは、SBIホールディングスの持分法適用会社から除外となったことから全株売却を行いました。一方、サイジニアがソフトバンクグループの持分法適用会社となり、ブックオフコーポレーションがヤフーの持分法適用会社となったことから新規組入を行いました。

○今後の運用方針

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年10月28日～2015年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 11 (11)	% 0.081 (0.081)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
合 計	11	0.081	
期中の平均基準価額は、13,134円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○ 売買及び取引の状況

(2014年10月28日～2015年10月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 85	千円 121,658	千株 784	千円 554,140

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○ 株式売買比率

(2014年10月28日～2015年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	675,798千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,287,148千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.52

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年10月28日～2015年10月27日)

利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
株式	12	72	124

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはソルクシーズ、モーニングスター、SBIホールディングス、SBIライフリビングです。

○組入資産の明細

(2015年10月27日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
情報・通信業 (79.4%)			
ガンホー・オンライン・エンターテイメント	549	361.5	140,623
ソルクシーズ	6.4	4.6	2,562
ヤフー	1,162.9	746	373,000
ソフトバンク・テクノロジー	5.1	3.6	4,420
ソフトバンクグループ	64.2	56.6	373,673
小売業 (8.5%)			
ベクター	6.6	4.8	2,140
アスクル	26.2	18.8	86,668
ブックオフコーポレーション	—	7.7	7,145
証券、商品先物取引業 (10.1%)			
SBIホールディングス	107	76.8	113,894
不動産業 (—%)			
SBIライフリビング	6	—	—

銘 柄	期首(前期末)			
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
サービス業 (2.0%)				
アイティメディア	3.1	2.2	4,884	
カービュー	5.1	—	—	
パリュウコマース	16.4	11.8	6,018	
ブロードメディア	25.6	—	—	
モーニングスター	40	28.7	8,523	
サイジニア	—	0.7	3,514	
合 計	株 数・金 額	2,023	1,323	1,127,068
	銘柄数<比率>	14	13	<96.4%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2015年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,127,068	% 94.8
コール・ローン等、その他	61,903	5.2
投資信託財産総額	1,188,971	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,188,971,673 円
コール・ローン等	25,855,076
株式(評価額)	1,127,068,400
未収入金	34,148,390
未収配当金	1,899,800
未収利息	7
(B) 負債	20,120,997
未払金	20,120,997
(C) 純資産総額(A-B)	1,168,850,676
元本	878,260,377
次期繰越損益金	290,590,299
(D) 受益権総口数	878,260,377口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,309円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,227,696,558円
期中追加設定元本額	118,326,925円
期中一部解約元本額	467,763,106円
期末における元本の内訳	
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	878,260,377円

○損益の状況 (2014年10月28日～2015年10月27日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	17,298,515 円
受取配当金	17,294,864
受取利息	3,434
その他収益金	217
(B) 有価証券売買損益	139,412,343
売買益	224,179,099
売買損	△ 84,766,756
(C) 当期損益金(A+B)	156,710,858
(D) 前期繰越損益金	251,443,260
(E) 追加信託差損益金	32,673,075
(F) 解約差損益金	△150,236,894
(G) 計(C+D+E+F)	290,590,299
次期繰越損益金(G)	290,590,299

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。